

大阪・関西万博を契機とした全国への誘客促進

①実施概要

大阪・関西万博が開催される2025年に向けてインバウンドの本格的な回復と全国への誘客を図るため、特別な体験の提供など観光回復の起爆剤となる取組等を集中的に実施する。また、多様な主体と連携し、観光資源の磨き上げやコンテンツの充実、DX推進を図り、地域のブランド化に繋げ、質の高い魅力的な観光周遊ルートの構築とともに、効果的な情報発信等により、関西地域さらには日本全国への誘客を促進する。

- (実施主体) 関係府省庁、博覧会協会、地方自治体
 DMO（観光地域づくり法人）、
 JNTO（日本政府観光局）等を想定
 (実施場所) 会場内外（全国各地域）
 (実施期間) 開催前から期間中



②今後の実施方針

博覧会協会やDMO等と連携し、広域周遊を含むモデルコース・特別な体験の創出や観光コンテンツの充実化等を集中的に実施するとともに、JNTO等と連携した訪日プロモーションや博覧会協会が構築する「全国観光ポータルサイト（仮称）」による情報発信等を行う。

③予算

令和4年度補正予算額：214百万円の内数（内閣官房）

https://www.cas.go.jp/jp/yosan/pdf/r4_hosei_gaiyou.pdf

：25,714百万円の内数（観光庁）

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001573247.pdf> （P3.4）

令和5年度予算額：126百万円の内数（内閣官房）

https://www.cas.go.jp/jp/yosan/pdf/r5_yosan_an.pdf

：1,763百万円及び12,356百万円の内数（観光庁）

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001579953.pdf> （P5、17、22）

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
地方誘客等観光コンテンツ造成支援	周辺自治体と連携した周遊型観光プランの造成	万博を契機とした 全国各地への誘客/ 会場内外やバーチャル万博 等における 各地域の魅力PR/ JNTOによる海外への情報発信
特別な体験コンテンツの創出等	ファムトリップの実施やインフルエンサーによる情報発信	
広域連携DMO等を中心とした観光コンテンツの充実等の実施	ポータルサイトでの旅行商品等の情報発信	
博覧会協会「全国観光ポータルサイト（仮称）」構築		
JNTOのウェブサイト・SNSやネットワーク等を活用した海外への情報発信 ★JNTOのウェブサイトにて万博特設ページを開設、SNS等による情報の発信 ★海外での旅行博におけるPR活動等		
観光地におけるDXの推進		

日本の国立公園の魅力発信（国立公園満喫プロジェクト）

①実施概要

- 日本の傑出した自然景観を有する国立公園における美しい自然の中での感動体験を柱とした旅は、人の価値観を変える力を秘めている。デジタル社会における自然の中でのリアルな旅の意義を再確認するとともに、自然環境や生物多様性の保全を促進するネイチャーポジティブツーリズムの可能性を探る。
- 国立公園の非日常的な旅で得られる「感動と学び」を、国立公園ならではのストーリーとともにビジュアルで表現。国立公園での上質な旅やネイチャーポジティブツーリズムの先進事例を展示や映像で紹介予定。

（実施主体）環境省、国立公園オフィシャルパートナー企業等

（実施場所）ギャラリー／会場外

（実施期間）一部期間／全会期中



②今後の実施方針

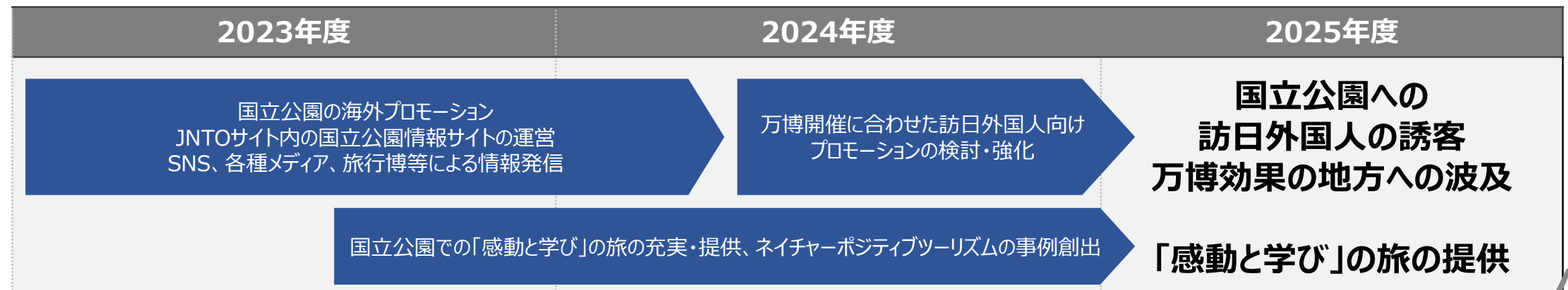
- ・各国立公園のストーリーを踏まえたプロモーションを実施。
- ・国立公園における「感動と学び」の旅を充実・提供していくと同時に、国立公園でのネイチャーポジティブツーリズムの事例創出に取り組む。

③予算

令和5年度予算額：132億円の内数

<https://www.env.go.jp/content/000100957.pdf>

④工程表



未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や 人・地域の魅力の情報発信

①実施概要

東日本大震災という逆境をばねによりよい復興(Build Back Better)を目指して力強く立ち上がる姿を、被災地発の未来社会に向けた復興企画を通して発信する。被災地の復興状況や震災伝承・食の取組の効果的な展示・催事を実施。また、万博会場から被災地への誘客を促進するツアーなど、被災地の交流・関係人口拡大に向けた取組を実施する。具体的には、人や地域の復興の物語等を発信し、来場者が楽しみながら共感・自分事化できるよう促すとともに、震災の影響で失われた食や伝統など、熱意のある人による復興に向けた挑戦の姿を発信し、多くの来場者に被災地の食を知ってもらい、食べてもらい、持って帰ってもらう（会場内外での提供）ことを検討する。

なお、上記を通じて、浜通り地域への自律的な進出・投資、新たな人による挑戦の促進、浜通りの新たなブランディング等も狙う。

（実施主体）復興庁、経産省、関係省庁、地元自治体、
地元企業、被災地参入企業

（実施場所）

会場内：催事会場（メッセ、大催事場、小催事場、ギャラリー）、フューチャーライフパーク等

会場外：被災地域へのツアー、大阪府内や首都圏、被災地でのイベント等

（実施期間）開催期間前 23年度～開催期間中



②今後の実施方針

2023年度は、展示・催事の設計に向けたコンテンツの企画や設計等を実施。合わせて、万博本番での誘客に向けた福島へのプレツアーを実施。サブ会場等関連イベントの企画を実施。

③予算

令和5年度 「大阪・関西万博」を契機とした復興に向けた情報発信強化事業

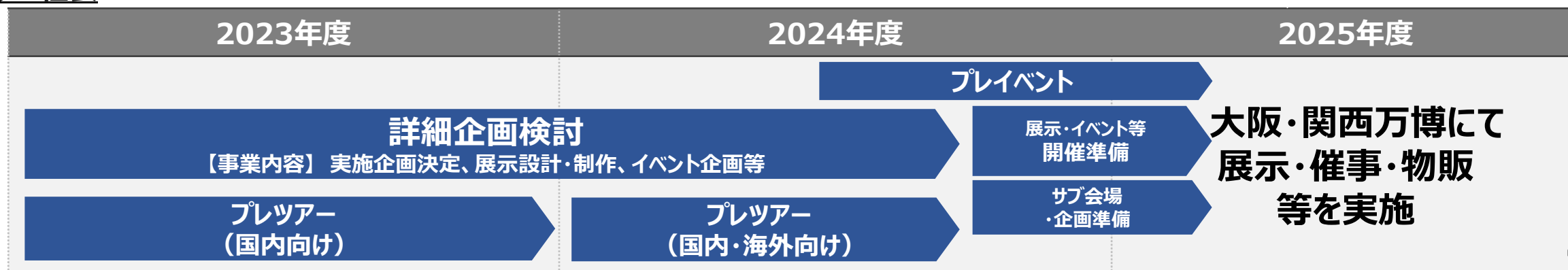
令和5年度 予算額：32百万円

令和5年度 地域の魅力等発信基盤整備事業

令和5年度 予算額：239百万円の内数

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/fu/fukko_09.pdf

④工程表



日本食文化・ジビエ・農泊・農業遺産・海業の発信

①実施概要

会場内外での日本食やお茶の体験、VR等を活用したバーチャルトリップ、ジビエの試食や野生鳥獣の利活用の取組の展示、万博近郊等の農山漁村における農泊や農業遺産等の農村文化の体験、地域資源の価値や魅力を活かした取組である海業（うみぎょう）のPRなどを通じて、多様な地域の食やそれを支える農林水産業、伝統文化を発信することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、農林水産物・食品の輸出につなげる好循環を構築する。

（実施主体）日本食文化・農泊・ジビエ等の官民実施主体

（実施場所）会場内（メッセ）、会場外

（実施期間）開催期間中（期間中の1週間程度）



②今後の実施方針

- ・出展コンセプトの確定
- ・展示内容の企画・検討及び関係事業者に向けた機運醸成
- ・既存事業を活用し、出展に使用可能な動画等の作成
- ・営業施設等における国産食材の活用及び食文化発信の検討

③予算

令和5年度予算額：80百万円

マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業のうち訪日外国人対応による輸出促進連携支援事業

令和5年度予算額：9,070百万円の内数

農山漁村振興交付金のうち農泊推進対策型、地域活性化型（農山漁村情報発信事業）

令和5年度予算額：9,603百万円の内数

鳥獣被害防止総合対策交付金

令和5年度予算額：1,353百万円の内数

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進

令和5年度予算額：2,402百万円の内数

浜の活力再生・成長促進交付金のうち水産業強化支援事業

令和5年度予算額：2,360百万円の内数

マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
全体計画、企画案作成	実施計画作成、出展用コンテンツの作成	大阪・関西万博において 農泊食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN)、世界・日本 農業遺産地域等への誘客及び国産 食材、食文化、ジビエ、海業（うみ ぎょう）、農林水産物・食品の輸出 の情報発信
「農泊食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」の拡大の推進、訪日外国人向けの情報コンテンツの改善、 農泊コンテンツの強化・プロモーションの推進、ジビエの供給体制の強化・プロモーションの推進、海業（うみぎょう）のプロ モーションの推進、農林水産物・食品の輸出のプロモーションの推進		
万博開催に向けた訪日外国人向けのプロモーション強化及び発信手法の検討		
営業施設等における国産食材の活用及び日本の食文化の発信の検討、 関係事業者との調整		

日本の食文化の発信

①実施概要

会場内外において、郷土料理等の日本の食文化を代表する料理に触れる機会の提供、日本の食文化の魅力を伝える映像の発信等により、日本の食文化の保護・継承に取り組む地域への国内外からの往来を活性化し、これらの地域の活性化を促進するとともに、日本の食文化の振興を図る。

（実施主体）食文化関係省庁、食文化の保護・継承に取り組む民間団体等

（実施場所）会場内：メッセ等

会場外：食文化の保護・継承に取り組む各地域等

（実施期間）会場内：テーマウィーク期間等

会場外：会期中等

②今後の実施方針

大阪・関西万博に向けて、工程表に沿って実施。

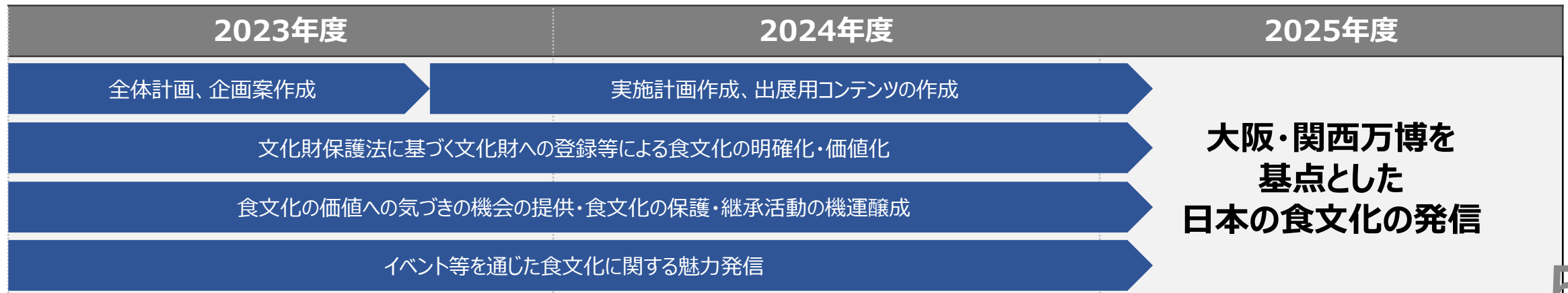
③予算

令和5年度予算額：192百万円の内数

(https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/93858001_01.pdf)



④工程表



日本産酒類の情報発信

①実施概要

国際的プロモーション等による日本産酒類の情報発信、酒蔵ツーリズムの取組の支援、万博の会場内又は会場外での国際ビジネス交流等を推進することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、日本産酒類の輸出につなげる好循環を構築する。（あわせて、日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産への登録を実現する。）

（実施主体）酒類事業者等

（実施場所）会場内又は会場外及び酒蔵ツーリズム等を実施する日本各地域

（実施期間）全会期中（一部の期間を含む）



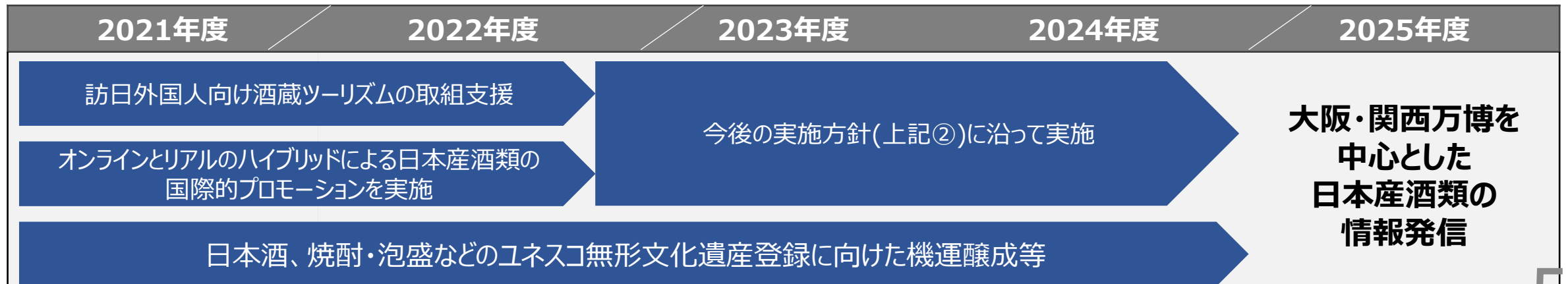
②今後の実施方針

- ・2023年以降、在留外国人向け酒蔵ツーリズムを開催し日本産酒類や酒蔵の魅力の発信、JNTO海外事務所や在外公館等と連携した国際的プロモーションの実施
- ・会期中の万博会場をハブとした日本各地の酒蔵ツーリズム及びプロモーションの実施に向けた検討、会場内又は会場外での取組の検討

③予算

令和5年度予算：161百万円の内数
（酒類業振興事業のうち、日本産酒類の情報発信）
<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/pdf/0022012-036.pdf>

> 工程表



「日本博2.0」の展開

①実施概要

大阪・関西万博に向けて、縄文時代から現代まで続く我が国の文化芸術を「日本の美と心」をテーマに国内外へ発信する。2025年度は、全国各地で取組を展開するとともに、一部の取組を万博会場内においても実施予定。

（実施主体）文化施設、民間事業者、非営利団体等

（実施場所）全国各地（2025年度は、上記取組の一部を催事場等の会場内においても実施予定）

（実施期間）2023年度～（2025年度は、上記取組の一部を会場内で一部会期期間に実施予定）

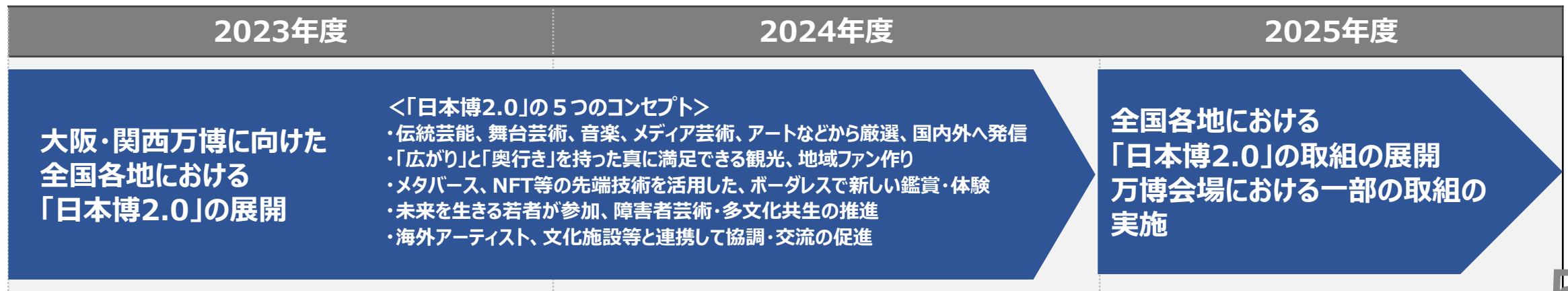
②今後の実施方針

- ・引き続き、「日本博2.0」の取組を全国各地で実施
- ・2023年度は「委託型」37件、「補助型」11件の事業を採択。
財政支援はないものの「日本博2.0」として一体的なプロモーションを受けられる「参画型」も随時実施。
- ・2023年度以降の取組内容を踏まえ、2025年度に会場で実施するコンテンツを選定し、造成予定。

③予算

令和5年度予算額：2,306百万円の内数 [001583491.pdf \(mlit.go.jp\)](#)
（令和4年度予算額：1,440百万円の内数）

④工程表



クールジャパンの総力を結集した機運の醸成

①実施概要

地域における万博への機運を高めるため、クールジャパン関係者の総力を結集させて地域の魅力を磨き上げ、特に外国人目線を取り入れたプロモーションを実施する。バーチャル万博や万博アプリ等も活用することで、訪日を計画する多くの外国人の目に留まるようにし、訪日喚起、全国各地への誘引、滞在期間の長期化を図るとともに、地域独特の魅力への共感、日本ファンの増加につなげる。

（実施主体）民間事業者、地方公共団体等

（実施場所）会場外（各地域）、バーチャル万博

（実施期間）開催期間前から期間中

②今後の実施方針

・異業種との連携や、クールジャパン関係者による情報発信等を行い、地域における魅力の磨き上げや発信力の強化、万博への機運醸成を図る。また、クールジャパンと関連性の高い他省庁の取組との共創を検討する。

③予算

令和5年度予算額：69百万円

https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r05/yosan_gai_r05.pdf

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
優良事例の発掘・展開、コンテストの実施等による地方の機運醸成、発信力強化		日本の魅力を 世界に向けて発信 新たな文化の創造を 次世代に継承・発展
クールジャパン戦略の推進に必要な調査・分析等		
関係省庁の取組との連携		

日本の工芸品・和楽器の対外発信

①実施概要

万博を契機とした日本の工芸品・和楽器の対外発信を推進するため、伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示や、ライフスタイルの変化を踏まえた新たな工芸品と異分野連携、海外からの来訪者に向けた和楽器によるイベント等を実施する。

伝統的工芸品の展示・製作実演・製作体験

<企画案>

- 会場での製作実演をライブ配信
- オンライン工房見学
- 職人指導による製作体験
- 伝統的工芸品を活用したショーとライブ配信
- 新素材や最新の技術を活用して作成された工芸品の展示

和楽器の演奏・製作実演・演奏体験

<企画案>

- 演奏家による和楽器演奏
- 和楽器ワークショップ（和楽器作り実演）
- 演奏家指導による演奏体験

（実施主体）一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、一般社団法人全国邦楽器組合連合会

（実施場所）会場内（日本伝統文化エリア等）

（実施期間）一部期間

②今後の実施方針

▼2023年度取組

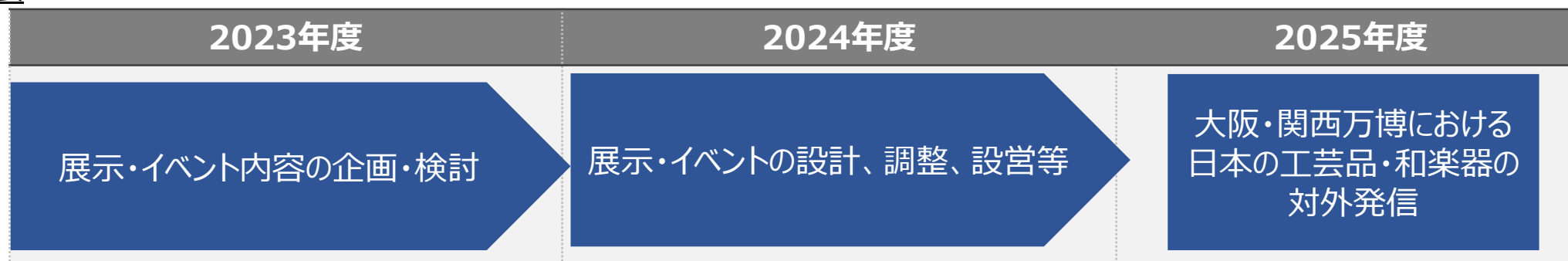
- ・展示・イベント内容の企画・検討等

③予算

—



④工程表



日本の新たな才能を万博～映像マーケットを通して発掘し世界に発信するプロジェクト

①実施概要

・多くの魅力ある映像コンテンツを送り出してきた日本のクリエイティビティのポテンシャルの高さをコンテスト形式（参加型発掘プロジェクトを企画）で掘り起こし、世界に発信するために、コンテンツを紹介する展示ブースの設置や催事を実施。

映像見本市のTIFFCOMや東京国際映画祭（TIFF）等との連携を検討。

TIFFCOM2024で企画募集を実施、万博会場内で募集作品の展示と優秀作品の発表、さらにTIFF、TIFFCOMにて世界への発信をサポート。

（実施主体）公益財団法人ユニジャパン（事務局設置）

（実施場所）万博会場内 リアル会場を想定

（実施期間）期間中1週間程度（8月夏休み頃を想定）

②今後の実施方針

- ・TIFF/TIFFCOM連動の映像企画募集の立案
- ・事務局設置の体制構築
- ・国内映像コンテンツ関係の企業や団体との連動の調整やヒアリングの実施
- ・会場の環境確認、展開プランとレイアウトの検討

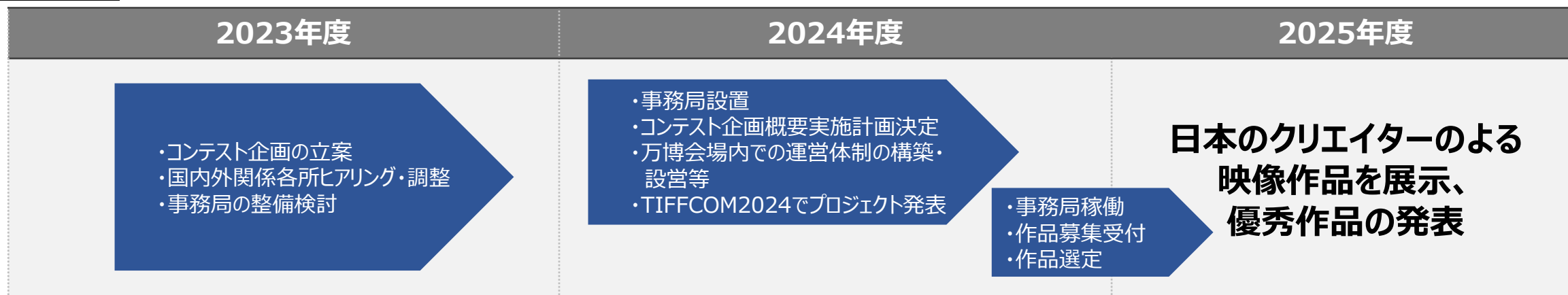
③予算

コンテンツ海外展開促進事業

令和5年度予算額：1,095百万円の内数

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/ip/shojo_08.pdf

④工程表



映像・芸術文化が形作る被災地の魅力ある 未来社会に向けた発信

①実施概要

福島県の被災地において、「芸術文化」を活用し、未来に向けて魅力あるまちづくりを目指す中で、「福島浜通り映像・芸術文化プロジェクト」を通じて、滞在制作等によって生まれた作品を大阪・関西万博の場で上映・展示等をする。各会場において、映像・映画の上映、現代アートの展示、演劇の公演などを実施し、多くの来場者に幅広い「芸術文化」に触れてもらい、新たな「魅力ある福島」を発信する。



（実施主体）経済産業省、内閣府、福島浜通り映像・芸術文化若手チーム

（実施場所）会場内（メッセ、屋外広場など）

（実施期間）一部期間

②今後の実施方針

・昨年8月に福島県双葉町において「シネマイイベント」を、10月には東京国際映画祭にてトークセッションを実施した。今後も、映像・芸術文化を通じた上映会やシンポジウム等を開催し、大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成を図る。

・映像や美術などの様々な分野のアーティストに福島に滞在していただき、その中で制作された作品を大阪・関西万博の場で上映・展示等をするべく、着実に準備を進めていく。

・「魅力ある福島」を発信するため、地元関係者と連携しながら、大阪・関西万博に向けた調整を行う。

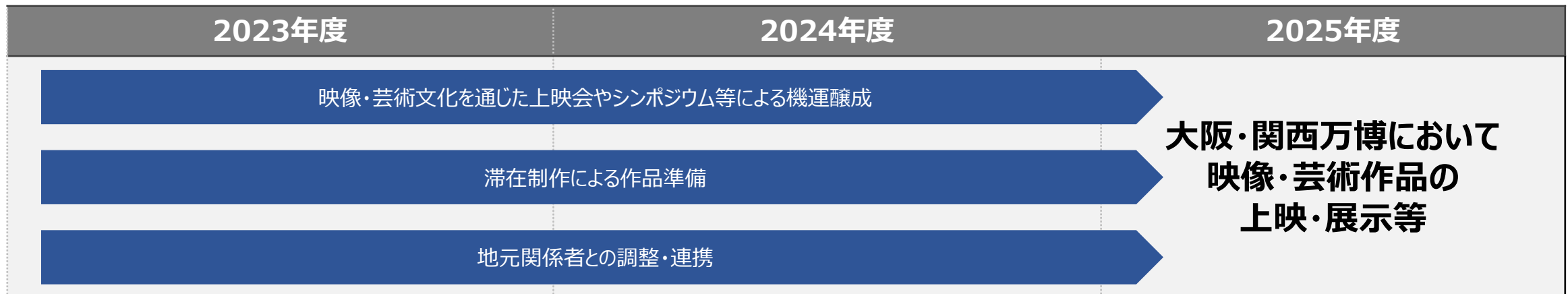
③予算

（原子力被災地域における映像・芸術文化支援事業）

令和5年度予算額：330百万円の内数

<https://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/fy2023/pr/fukko.html>

④工程表



アイヌ文化の対外発信

①実施概要

・万博を契機としたアイヌ文化の対外発信を推進するとともに民族共生象徴空間（ウポポイ）への誘客促進を図るため、伝統的なアイヌ舞踊を披露するイベントの実施や関連する工芸品等の展示の実施等を検討中。

（実施主体）文化庁、国交省、関係機関を想定

（実施場所）会場内外を想定

（実施期間）開催期間中の実施を想定



アットウシ（樹皮の反物） アイヌ文様の工芸品

②今後の実施方針

・取組内容の企画・検討を行い、関係者との調整を進める

③予算

—

④工程表



スポーツの新たな価値の創造等による多様性・可能性の追求

①実施概要

万博会場で、新しいスポーツを来場者に体験いただくとともに、スポーツDXやスタジアム・アリーナ改革※1における優良事例やJSPIN※2参画企業による取組など、スポーツの可能性の拡大に資する事例等の紹介を行う。

なお、スタジアム・アリーナ改革の優良事例紹介では、スタジアムアリーナ選定施設を中心に、今後各設置者等と調整し、自治体やスポーツ関係者等の当該施設視察への誘導等に取り組む。

※1 まちづくりや地域活性化の核となるスタジアム・アリーナの実現を目指したスポーツ庁の取組

※2 日本のスポーツ産業の国際展開を支援するスポーツ庁のプラットフォーム（正式名称：Japan Sports Business Initiative）

（実施主体）スポーツ庁、関係団体、民間企業等（今後調整）

（実施場所）メッセ

（実施期間）万博開催中の一部期間

②今後の実施方針

- ・万博に向けて、具体的な取組の検討
- ・連携する民間企業等の選定、施設設置者等と企画に関する意見交換
- ・JSPINの一環として、アジアや欧州で開催のスポーツビジネス展示会にジャパ
ンブースを設置し、海外市場からのニーズを調査・確認

③予算

令和5年度概算決定額：

406百万円（スポーツ産業の成長促進事業）の内数

43百万円（スポーツ産業の国際展開促進事業）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20220830-spt_sseisaku01-000024691_1.pdf

④工程表



「Sport in Life」の推進と障害者スポーツの振興

① 実施概要

スポーツが生涯を通じて生活の一部となることで、人生や社会が豊かになるという「Sport in Life」の姿を目指し、スポーツの動画を活用した普及啓発や、スポーツ庁が行う「Sport in Life推進プロジェクト」との連携イベントを実施する。

また、スポーツを通じたQOL（Quality of life）やライフパフォーマンスの向上を図るため、国民の一人一人が、自身の身体機能の状況を知り、目的を持って効果的な運動・スポーツの実施に取り組めるよう、普及啓発イベントや体験型セミナー等の開催を検討・実施する。

大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の取組として、一般社団法人スポーツ・オブ・ハートが実施する、大阪・関西万博開催記念・カウントダウン「ダイバーシティ駅伝47」及びパラスポーツ体験の開催に係る周知を行うなど、障害者スポーツの振興に資する情報発信の実施やイベントの検討を行う。

（実施主体）スポーツ庁、民間企業等（一般社団法人スポーツ・オブ・ハートのほか、今後調整）

（実施場所）メッセ

（実施期間）万博開催前～期間中

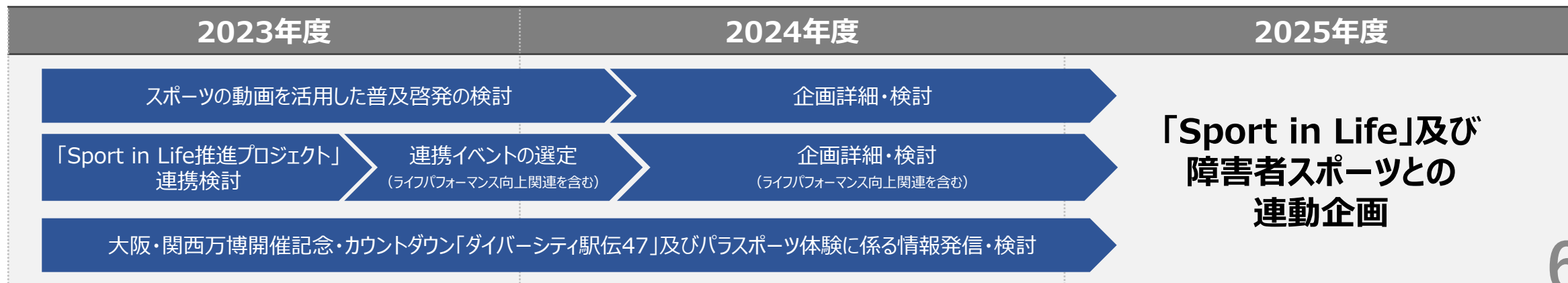
② 今後の実施方針

- 万博に向けて、具体的な取組の検討と、教育機関・民間企業・関連団体等との連携の可能性について意見交換。
- 一般社団法人スポーツ・オブ・ハートが実施する「スポーツ・オブ・ハートプロジェクト」など、障害者スポーツの振興に資する情報発信の実施・検討。

③ 予算

令和5年度予算額 262百万円（Sport in Life推進プロジェクト）
225百万円（障害者スポーツ推進プロジェクト）

④ 工程表



大阪・関西万博への修学旅行等に係る情報発信について

①実施概要

修学旅行等の行程に大阪・関西万博を組み込んでもらいやすくなるように、都道府県や学校関係者に対し、情報発信を行う。

（実施主体）文部科学省

（実施場所）－

（実施期間）開催前から開催期間中

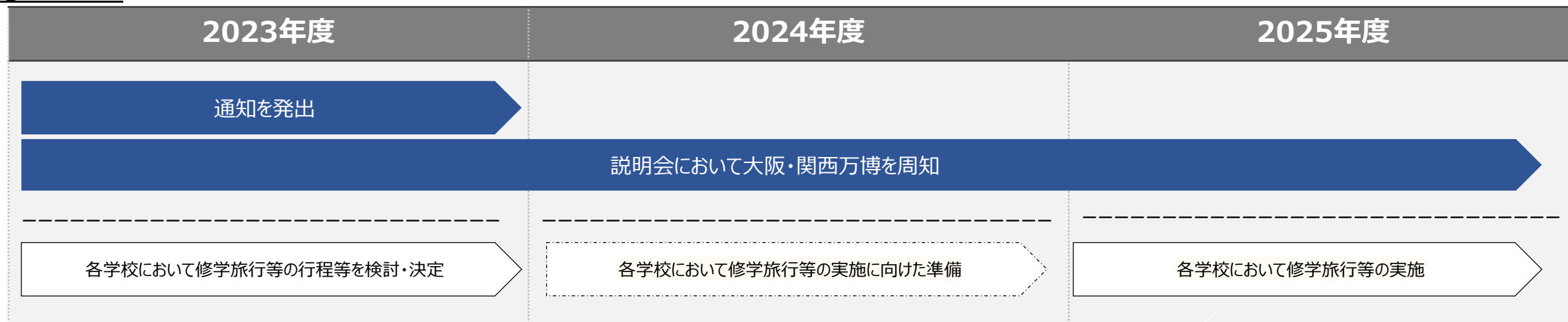
②今後の実施方針

- ・年度内に各都道府県教育委員会等へ通知を発出。
- ・各都道府県教育委員会担当者等に対し、説明会において周知。

③予算

－

④工程表



大阪・関西万博に関する「ジュニアEXPO2025」教育プログラムの周知

①実施概要

- ・大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じてSDGsへの理解を深める小・中学生向け教育プログラム（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会作成）について、都道府県教育委員会等に対して周知を行う。

（実施主体） 内閣官房・文部科学省・経済産業省
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

（実施場所） －

（実施期間） 開催前～会期中



教育プログラム使用教材(小学校版、中学校版)

②今後の実施方針

- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会等と連携し、教育プログラムに関連する周知を行う。

③予算

－

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
万博開催まで随時、各教育委員会等に対して周知を行う		
参加校において、教育プログラムを実施		

万博国際交流プログラム

①実施概要

大阪・関西万博に多くの国が参加することを契機に、全国各地域において、子ども・若者等の地域住民と万博参加国の関係者が地方公共団体の事業を通じ継続的に国際交流していく枠組みを設けることにより、参加国・地域との相互理解、地域の課題解決・活性化などの取組みを支援する。

具体的には、万博の理念や共通の課題等への理解を深めるための事前学習を含め、地域の住民等と交流相手国の万博関係者や出身者等とが継続的に交流していくため地方公共団体が交流相手国と行っていく事業に対し、支援を行う。

※ 参加自治体は、交流計画の提出・国の審査を経て、登録・公表される。

〔交流タイプの例〕

- 万博前後に相互往来等を行って相手国の歴史や文化を理解するとともに、万博開催中に来日した相手国の万博関係者を地元へ招いて、講演会や住民との交流イベント等を開催する。
- 万博前～会期中に相互往来等により相手国の文化、伝統芸能等を習得して、相手国のナショナルデーにおけるイベントを共同実施する。

(実施主体) 地方公共団体

(実施場所) 会場外（各地方公共団体や交流相手国に所在する講演会場・交流施設その他施設等）

会場内（2025年度：催事場などナショナルデーイベント会場等）

(実施期間) 2024年度～



令和4年度モデル事業 兵庫県三木市×フランス



令和4年度モデル事業 栃木県那須塩原市×オーストリア

②今後の実施方針

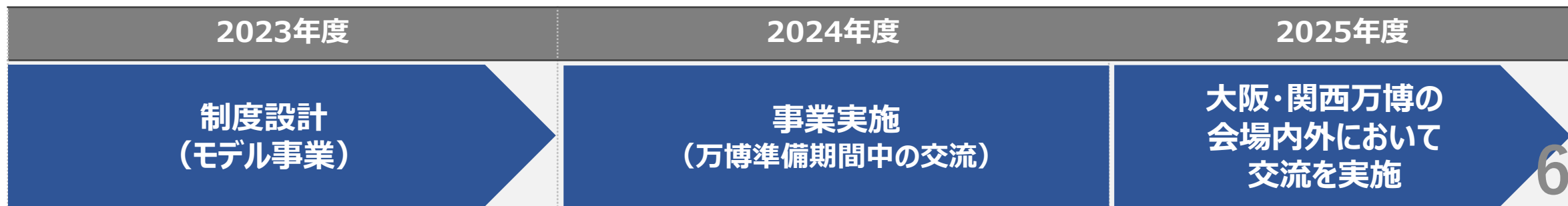
2023年度モデル事業の実施を通じ、優良事例の開発・共有を図りつつ、2024年度以降、万博を契機とした国際交流やこれらを通じた相互理解・課題解決・地域活性化などの取組みを後押しすべく、参加自治体の登録を行い、交流事業が円滑に実施できるよう支援を行う。

③予算

(予算) 令和4年度補正予算額：214百万円の内数

https://www.cas.go.jp/jp/yosan/pdf/r4_hosei_gaiyou.pdf

④工程表



日本の建築文化 伝統と創造の狭間で世界を牽引する近現代建築

①実施概要

戦後の日本文化を代表する重要なコンテンツとして世界的評価の高い日本の近現代建築とその景観について、資料展示、ツアー等によって、多面的な理解を促す。

訪日外国人が日本の建築文化を網羅的に把握しながらも、深く理解する機会の提供を行う

(実施主体) 文化庁国立近現代建築資料館 ほか

(実施場所) 会場内：日本伝統文化エリア1階展示場

会場外：国立近現代建築資料館、
紹介建築物の立地場所、web ほか

(実施期間) 全会期中



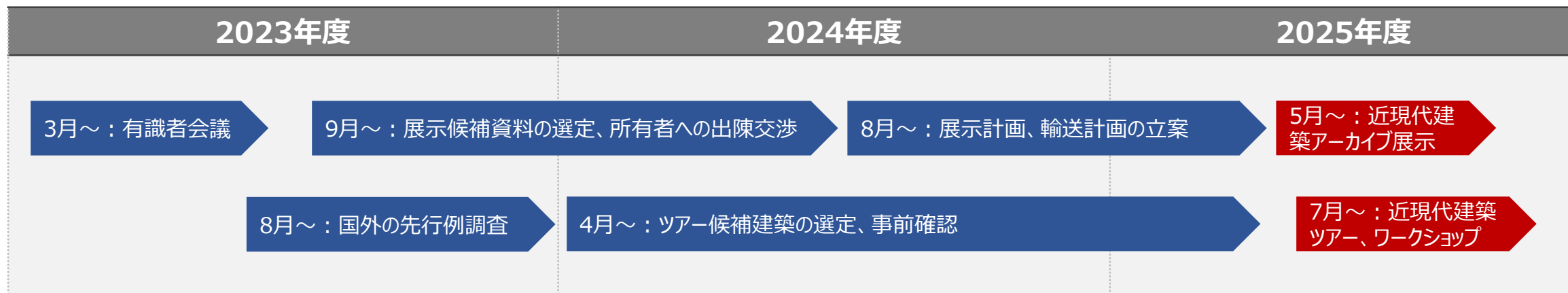
②今後の実施方針

1. 2023年度は、フランスにおける建築文化振興制度、デンマークにおける現代建築保全団体の取組、台湾における建築物保護・継承にかかる各種優遇制度等の取組について調査を行う。
2. 展示候補資料の選定、所有者への出陳交渉を開始する。

③予算

—

④工程表



日本のアート発信とアートを起点とした相互交流

①実施概要

- 日本のアートを世界に発信するとともに、各国の第一線で活躍する若手アーティストの作品も発信する。また、アーティストと来場者の対話など、アートを起点とした相互交流も行う。
- 日本のクールが発信されることで、日本の美の理解促進や未来の世界的アーティストの輩出につながる。

(実施主体) 官民連携での取組を想定

(実施場所) メッセ

(実施期間) 一部期間

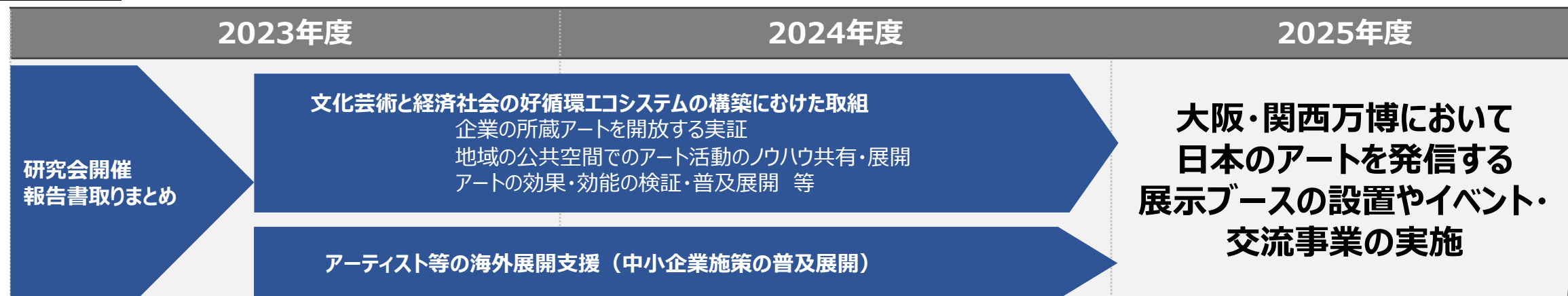
②今後の実施方針

- 2022年度に開催した「アートと経済社会について考える研究会」の報告書を取りまとめ、アートにおけるエコシステムの実現に向けた方向性を示す。
- そこで得られた施策を実施することで、2025年度におけるアート万博に向けた機運醸成を行う。

③予算

—

④工程表



関西発「ワザ」と「コンテンツ」の未来体感フェスティバル

①実施概要

・職人が作品に「いのち」を吹き込むことで人の生活をより豊かなものにしてくれる、世界に誇れる日本の伝統工芸等の「ものづくりの技」と「アニメ等コンテンツ」を連動して体感・体験できる政府としては初めての展示・ショーイベントを実施する。会場は、ものづくりオープンファクトリーゾーンとアニメ等コンテンツゾーンの2つ。

・「ものづくりオープンファクトリーゾーン」では、出展者が会期前に各産地・工房で万博会場で披露するモニュメント等を来場予定者とともに制作、会期中には万博会場で当該モニュメント等を展示、世界中からの来場者に手を加えてもらい、会期後は各産地・工房でメモリアル展示し、万博のレガシーとする。こうした体験を通じて、双方が感じる魅力の捉え方の違いに気づき、「未来のものづくり」の新たな姿・価値を考えるきっかけとしてもらう。万博来場者が現場を訪れる各産地・工房への訪問ツアーも用意する。

・「アニメ等コンテンツゾーン」では、日本のアニメ等のコンテンツを発信する国際的なイベントと連携したショーイベントを実施し、その魅力を体感してもらう。イベント衣装等は、ものづくり産地と連携して制作する。

（実施主体）経済産業省近畿経済産業局、国際イベント主催者等

（実施場所）会場内（メッセ、大催事場、屋外イベント広場）、会場外（近接展示場、出展産地等）

（実施期間）一部期間

②今後の実施方針

- ・ものづくり中小企業・産地に対する万博催事の参加募集。
- ・ものづくり中小企業に対する万博の理念や催事コンセプトを伝えるセミナー開催、出展に向けたブランド・魅力の磨き上げ。
- ・国内外からの集客力を高めるため、アニメ等のコンテンツ産業を中心とした日本のカルチャーを発信する国際的なイベントとの連携開催に向けた誘致活動の実施。

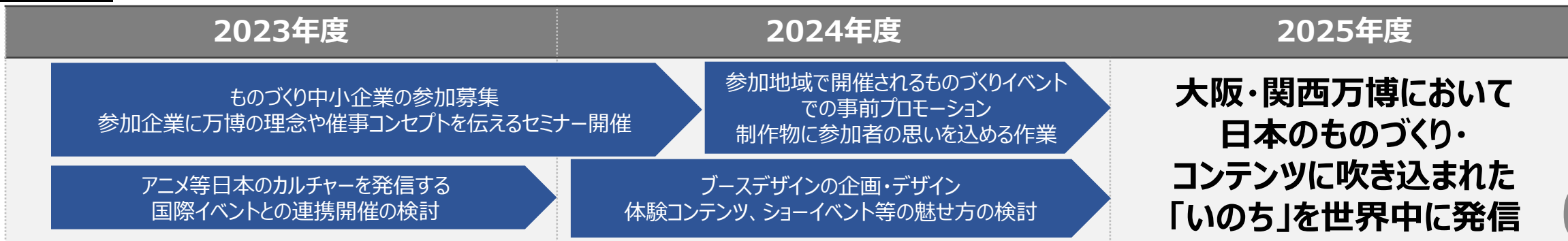
③予算

—



【会場イメージ：福井県越前市
「千年未来工藝祭」HPより】

④工程表



連絡先 農林水産省農産局園芸作物課
花き産業・施設園芸振興室
03-6738-6162
国土交通省都市局参事官
(国際園芸博覧会担当)
03-5253-8134

花き園芸文化を通じた2027年国際園芸博覧会の情報発信

①実施概要

大阪・関西万博の場を活用して、2027年に開催される国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）のPRを図る。SDG s の達成に貢献し、気候変動や生物多様性の損失等の地球規模の課題に対する我が国の姿勢を世界に発信する場としての国際園芸博覧会の開催情報に加え、国産花きによるいけばなや盆栽等を用い、日本の園芸文化の発信を行う。



②今後の実施方針

2023年は会場や展示の計画・設計等を実施するとともに、大阪・関西万博と2027年国際園芸博覧会の連携の在り方を検討する。

③予算

—

(実施主体) 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

(実施場所) 会場内（詳細は2027年国際博覧会協会と調整中）

(実施期間) 開催期間中（詳細は2027年国際博覧会協会と調整中）

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
大阪・関西万博での展示内容の検討	展示内容の調整、展示整備等	・大阪・関西万博でのPR活動等 によるPR・機運醸成
国際園芸博覧会の会場・展示内容等の検討、調整、準備		
(2027年3月開催)		